

大正九年一月号

# 営業案内

## 蚕種冷蔵 荒船風穴

### 復刊版

大正九年一月号

### 営業案内

冷蔵蚕種 荒船風穴

- ◎第一第二第三風穴の總容量 四萬餘手巻百七拾七立方尺！
- ◎新設録事表上の冷蔵部可数量 參百四拾七萬枚！
- ◎設備安大、結構優良、料金平廉、而も取扱親切、正確敏捷なり！
- ◎本だ荒船に試みざるの士は速かに來つて其真價を知られよ！
- ◎更らに本年冷蔵水庫を本館に開設し天然風穴通有的不便を補足改善せし。
- ◎即ち最善を期し各位の惠顧を以て任せんと欲す、乞ふ多少に不拘御託命あらん事を。



本館は風穴間の電話設りあり

群馬縣北群馬郡西枝村荒船風穴冷蔵所

主事 春館 庭靜太郎 電話 振替口庫東九三

群馬地域文化振興会

號月一年九正大

# 營業案內

◎第一第二第三風穴の總容積  
四萬參千參百七拾七立方尺！

◎舊蠶絲業法上の冷蔵認可數量  
參百四拾七萬枚！

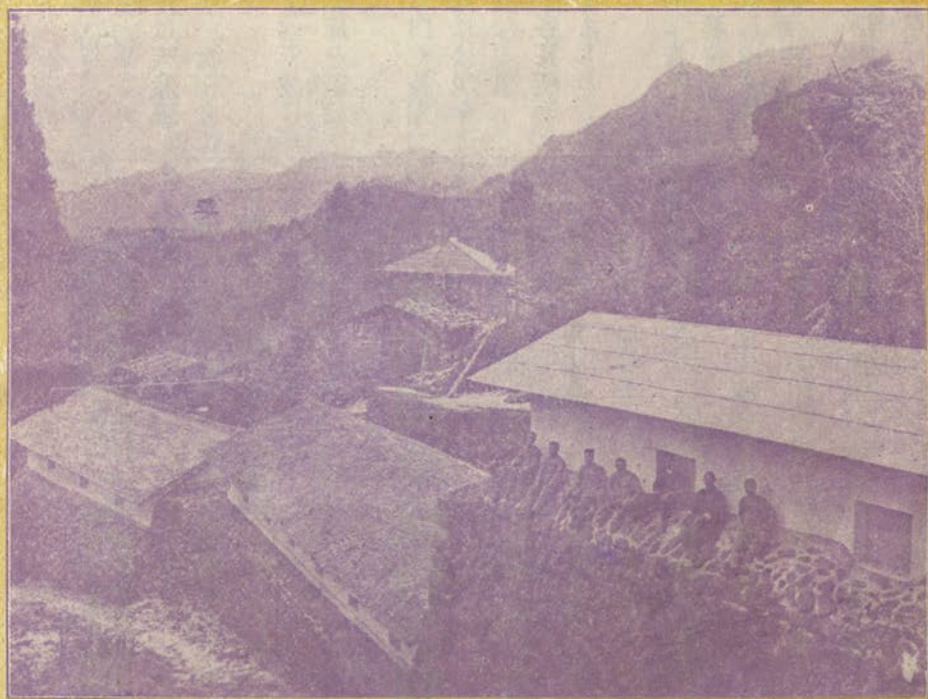
◎設備宏大成績優良料金至廉  
而も取扱親切正確敏速なり！

蠶種  
冷蔵  
荒船風穴

◎未だ荒船に試みざるの士は速  
かに來つて其眞價を知られよ

◎更らに本年冷蔵氷庫を本館に  
新設し天然風穴通有的不便を  
補足改善せり

◎即ち最善を盡し各位の忠僕を  
以て任せんと欲す、乞ふ多少  
に不拘御托命あらん事を



りあ話電設私は間の穴風りよ館本

所藏冷蔵蠶穴風船荒 村牧西郡樂甘北縣馬群

九三四一—京東座口替振 郎太靜屋庭 館秋春 主所  
ソ = 號略信電

## ◎冷蔵氷庫を新設す◎

敏活を一要素とせる夏秋蠶種の販賣上に就ては天然風穴の通有性的なる地の不利は冷蔵業者として一欠陥なる事を自覺して居ります

故に吾人は極力此方面に向つて新生面を啓くべく茲に荒船風穴冷蔵蠶種取扱所たる春秋館に冷蔵氷庫を新設し而して如上の欠陥を補足改善致しました

然し多年の經驗に富める篤志蠶種家の告白に曰く長期の水庫冷蔵は蟲質虚弱の傾向ありと、又一面には現今の經濟状態より推して冷蔵氷庫經營の不經濟なる事吾人は以上の論者に共鳴して風穴並に氷庫の各長所のみを採擢し而して蠶種家各位に見えんと欲するものでもあります

即ち本期(冷蔵の大体期間)冷蔵は最も生理的に安全にして而も經濟的なる天然風穴に據り又敏速を要する出庫販賣前にありては急に應じ得る地の利を得し冷蔵氷庫に移藏し以て漸く公認せられたる複式冷蔵法の妙味を頌かたんと存じます

斯くもして眞に各位の忠僕を以て任せんと欲す、乞ふ多少に不拘御托命あん事を

## ◎下仁田驛春秋館間定期自動車開始

春秋館荒船風穴冷蔵種取扱所の三軒目に自動車々庫を設置し迅速なる蠶種運搬を致します、尙本館と風穴間は私設電話があります

## ◎本期間冷蔵料金割引法◎

冷蔵の本期間(冷蔵の大体期間)丈け風穴に據り販賣前は附近の水庫移藏せんと欲する方に特に左の條件に依り料金の割引法を設けてあります、詳細は冷蔵枚數及び容器の様式を附記して御照會を願います

- 一、豫め出穴期日を定め置く事
- 二、絶対に分箱内出しを爲さざる事
- 三、極めて簡單不急に出穴を爲す事

# ◆春秋館蠶種冷藏部◆

## 荒船風穴の概況

上信の國境に蟠る荒船連山の峰高くして谷深く夏猶寒き一帯の地域相連る其主峰荒船山の北側海拔二千八百七十尺重疊たる岩石の間よりは冷風の进出四時絶ゆる事なく三伏の酷暑と雖氷雪の點在絶つ事なき真に仙客も來り遊ぶてふ仙境があります。

我が荒船風穴は此地を卜して冷蔵所を建設したのであります、第一號(七間に三間半)第二號(十一間半に三間半)第三號(八間に三間半)共巖の本縣技師鈴木貞太郎氏、縣農會技師宮田傳三郎氏、前橋測候所長技師赤井敬三氏、技師藤間大次郎氏、同北爪長太郎氏、同菊地清夫氏、同佐藤辰太郎氏、同菊地助松氏、土木技師小林源次郎氏、東京高等蠶業學校長本多岩次郎氏、高山社蠶業學校長町田菊次郎氏、技師中塚庄藏氏、技師佐々木林太郎氏、技師永井治良氏、技師小布施謙治郎氏諸賢の熱誠なる指導監督の下に成つた者であります、三者共深さ拾五尺で其上に純土藏式に建築を爲した者で何れも下中上の三室に區劃してあります、構造土藏式なるが爲め各室の温度均を保ち且つ極めて完全に火防に備へてあります、而して下中の室にて夏秋蠶種の冷蔵を爲し上室を春蠶種の貯藏に充て居ります、各室の總容積は四萬二千三百七十七立方尺にして是れが蠶絲業法上の認可數量は三百四十七萬枚であります、然るに現在には僅に六十餘萬枚しか貯藏して居りませぬ、されば當所は未だ多大の餘裕があります、當所は其方針として時宜により適良なる温濕度の室に移して合理的の貯藏を爲すことにして居ります、故に如何なる年柄も決して失敗を招かざる事を確信して居ります、尙當所の擴張は殆んど無限に有望の餘地を存し既設冷藏庫の周圍は盛んに冷風进出し如何に風量の多大なるかは常に實地視察者を驚嘆せしめて居ります、故に一般風穴の穴内氣象變化に困難するが如き年柄に於ても當風穴は更らに故障變化なく極めて安全の温度を維持して居ります、出穴に際しては低温

の場所より俄かに高温に接觸せしめない様に順次上室を経て生理的順温出穴を爲し得る様に取扱ふて居ります、委託蠶種受付より入穴前の保管に充つべき倉庫は三棟設備し萬遺漏なきを期して居ります、殊に事務の敏捷を計らん爲め本館より風穴迄は私設電話を架設してあります、設計指導諸氏の苦心考案と天恵の靈地とは相俟つて連年の好成绩を挙げ委託者は全國に亘り拔群の大好評を博し居るは成績の一端に視るも之れを證明し得て餘りあると思ひます

蠶種冷蔵規定

第一條 冷蔵蠶種定期受付は十二月一日より翌年二月末日迄、出穴は春蠶種三月二十日より五月二十日迄、風穴種六月二十日より九月二十日迄とす、但し右定期外に在りても出穴の請求に應ず

第二條 蠶種冷蔵料、出穴手数料、究理料は左の通り申受くるものとす

|      |      |      |      |      |       |                  |  |  |  |  |  |
|------|------|------|------|------|-------|------------------|--|--|--|--|--|
| 貳拾枚迄 | 壹百枚迄 | 參百枚迄 | 五百枚迄 | 壹千枚迄 | 五千枚以上 |                  |  |  |  |  |  |
|      |      |      |      |      |       | 一口に付き<br>框製一枚に付き |  |  |  |  |  |
|      |      |      |      |      |       | 風穴種料金            |  |  |  |  |  |
| 金壹圓  | 金五錢  | 金四錢  | 金參錢  | 金參錢  | 金貳錢   | 金壹錢              |  |  |  |  |  |
| 金壹圓  | 金五錢  | 金四錢  | 金參錢  | 金參錢  | 金貳錢   | 金壹錢              |  |  |  |  |  |
|      |      |      |      |      |       | 春蠶種料金            |  |  |  |  |  |
| 金六錢  | 金參錢  | 金貳錢  | 金貳錢  | 金壹錢  | 金壹錢   | 全                |  |  |  |  |  |
| 金六錢  | 金參錢  | 金貳錢  | 金貳錢  | 金壹錢  | 金壹錢   | 全                |  |  |  |  |  |

臨時冷蔵料金

人工越冬種、二化性生種冷蔵、風穴種再入穴は春蠶種料金に準ず、  
種繭は一舛迄金貳拾錢とし以上一舛を増す毎に金拾錢とす、蛹、蛾は便宜是れを定む、蟻蠶は風穴種料金に準ず。

平製は前記框製料金倍額と、バラ種は壹オンスを三枚分に改算す。  
出穴手数料は出穴蠶種の多少に不拘毎回金五錢定期外の出穴は金拾錢を申受くるものとす。  
究理料は三枚迄一口に對し金貳圓とし三枚以上一枚を増す毎に金貳拾錢を加へ申受くるものとす。  
箱入密封蠶種の表記枚數に對し容積過大と認むるものは特に相當割増料金を申受くるものとす。  
當所の貯藏箱に移して冷蔵するものは料金三割増しを申受くるものとす。